



励徳励行

自ら考え
進んで行動し
学び続ける
『キラリと光る励徳っ子』

みつめる、みとめる
—みんな違う個性、みんな願う幸せ—
熊本県人権月間
2023.11.10(金)~12.10(日)
第28号
R5.11.17発行
文責 永田 功臣

励徳フライド表現期間！！

いろいろな行事や学習が計画されています。励徳小学校らしさを表現する期間でもあります。

<3・4年生編>

9日(木)に土地改良区の方々にガイドをお願いし地域の水路を見て回りました。水門の開閉体験や水のろ過実験など、見学だけでなく、様々な体験をさせていただきました。**学んだことや感謝の気持ち**をしっかりと表せたでしょうか。



14日(火)は、教育審議員をお迎えして、理科の研究授業が行われました。もの形を変えて重さを量る実験や、空気を温めたり、冷やしたりして体積の変化を確かめる実験をし、結果をもとに、みんなの意見を一つにまとめるのがポイントでしたが、それぞれの学年や班で**思考**や**表現**がしっかりとできているようでした。これからも表現する事を大切にしましょう。



『お父さんのおなか』が石碑に！

2年生田村ゆずさんの詩が表彰されたことは先日よりお知らせしましたが、今回その詩が石碑に刻まれました。本人はご家族と一緒に除幕式に参加しました。詩碑は玉名市にある蓮華院誕生寺奥之院というお寺に建立されています。機会があれば、私も見てみたいと思います。除幕式の様子を見て、改めて「親を大切にする心」を大切にしていきたいと思いました。励徳小学校の名前を広めてくれたゆずさんに感謝です。



除幕式の様子はYouTube上に公開されています ↑↑↑

☆はうかう☆

～キラリと光るために～

登校時、6年生は下級生の安全面の見守りだけでなく、地域の方へのあいさつ、見守りボランティアや止まってくれた車へのお礼の言葉等、しっかりとお手本になって行動で示してくれています。それを見た下級生が、次は自分たちがお手本になる気持ちになり、励徳小の伝統、言い換えれば「励徳プライド」につながっています。上級生の姿を見て早く自分でできるようになってほしいと思います。

「かっこいいあいさつ」
二年 渡邊 大翔
りゆうきくんみたいに
大きい声で
あいさつをして
かっこいい
お手本になりたい



もっとサイエンス



今週は、急に冷えていきなり冬が訪れたようでした。朝、登校を見守っていると、息が白くなります。なぜ、**寒くなると息が白く見えるのでしょうか。**また、ストーブに水を入れたやかんをのせておくと、注ぎ口の先に白い湯気が見えます。しかし、白い息も湯気もそのうち見えなくなってしまいます。なぜだか考えたことはありませんか。

息の中に含まれている水、やかんの中にある水は温度によって液体の水になったり、水蒸気になったりします。ここで言えるのは、**液体の水は目に見えるけれども、水蒸気の状態だと目に見えない**ということです。空に見える雲や寒い時できる霧も似たような理由によるものです。見えたり見えなくなったりすることを自分なりに説明できるように、ちょっと調べたり、考えたりしてみましょう。

お願い

お知らせしているとおり、12月1日(金)のれいとくの日には今年「餅つき」を計画しています。久しぶりの実施となりますので、経験されていない保護者も多いと思いますが、**餅をつく、丸める、袋詰め**等、できる範囲で子どもたちのお手伝いをお願いします。

